



もくじ

- 巻頭「選挙に明け暮れた春、そして思わぬ拾いもの」
- 下水道エネルギー利用研究会の取り組み
- 『すわまちくらぶ』オープン
- 平成 27 年度総会 記念講演「私の更生保護活動について」
- 諏訪女声ネットの会です よろしく！
- 理事会報告

選挙に明け暮れた春、そして思わぬ拾いもの

諏訪地方も統一地方選挙で慌ただしい春を迎えました。在職中は公務員であった私にとって選挙は投票に行くのみで選挙運動の渦中に取り込まれることはありませんでした。それが今回の選挙では思いもかけない立場になり、桜を愛でる余裕もありませんでした。

諏訪の穀倉地帯でもある、通称小和田田んぼの中に家を建てて 40 年にもなります。当初田んぼに囲まれていた自宅周辺はここ数年で思いもかけない住宅・商業地区として変貌の一途を辿り、住民も増加しています。その結果、諏訪市議会に代表を送り出すことになり、候補者の後援会長の任を与えられたわけです。これも住民としての義務の一つと自身を納得させての選挙活動への参加でした。

自宅が建っている地域は諏訪市の旧市街地にある小和田地区の住民が所有していた田園地帯でした。経済成長華やかなりし頃から農家の働き手は都会に出て、農家を継ぐ若手も少なくなり、田んぼが住宅地へと変わっていく傾向は全国どこの地域でも見られる現象です。肥料いらずと言われた諏訪の美田は虫食的に住宅地へと変わり、残る田んぼも農業がし難くなっているのが現状です。

反面、旧市街地の中心的地域と自負していた地域からは子供の声が消え、高齢者中心の街となり、市会に議員を出したくてもなり手が居ないというのが実情です。その結果、旧市街地と新興市街地が共同して候補者を立てることになった次第です。選挙には素人の、それも他所から移住してきた者が候補者の後援会長ということで、旧市街地の方々は相当に心配されたようで、何やかやと世話を焼いてくださいました。お陰で候補者は中位で当選し、ほっとしたところです。候補者当人もお疲れだったでしょうが、当人のご家族、地域の人たちは私も含めて、相当に疲れました。これが地域の選挙というものなのでしょう。この疲れを解消するためにも市会がどのように住民のために

諏訪湖クラブ会長 沖野 外輝夫
活動し、役立ってくれるかを地方創生の原点として見ていきたいと思っています。

話は変わりますが、諏訪湖にシジミを復活させるための朗報がこの選挙活動の際に得られました。昨年、漁協にもシジミの現物を持ち込んで、知らせてあるとのことですが、そのご本人から直接状況を聞き、現物を数十個頂くことができました。取れた場所は上川から分水された用水の上流部です。以前から、もしもシジミが生き残っているとすれば上川の諏訪市と茅野市の境、中門川の分岐点付近にある堰の前後の砂地と見当を付けていました。今回のシジミはその付近の直下に当たる用水の中でした。マシジミ類は本来流れのある場所に生息していて、止水である湖の中では繁殖が難しいのではと考えていました。諏訪湖のマシジミは流入河川のどこかで繁殖し、出水の際に湖中に流れ込み、そこで成長していたのではないかと推測していました。今回のシジミ採取場所はそれを裏付けるものでもあり期待しています。現在、一部を信大センターに保存、残りを下諏訪の水産試験場に預けて、同定と飼育をお願いしています。その結果が待ち遠しいのですが、選挙に関わったお陰での思わぬ収穫でした。



下水道エネルギー利用研究会の取り組み

八幡 義雄

下水道施設に内包されている水や熱、資源など様々なエネルギー源を利用できるよう、様々な立場の方から提案を頂き、その実現に向け研究、検討を進めていく研究会を平成 25 年 3 月 14 日に発足しました。

会長 沖野外輝夫 (信州大学名誉教授) 信州ネット SUWA 運営委員長

片庭 博 (NPO 諏訪圏ものづくり推進機構)

八幡 義雄 (長野県下水道公社中信管理事務所)

事務局 山浦 直人 日本クリーンアセス (株) 技術顧問

大きな目標として、①再生エネルギーパーク構想、②災害時の拠点としての活用、の二つの施策を上げています

① 再生エネルギーパーク構想

再生エネルギー施設の仕組みやその意義を学ぶ空間を創造する

・汚泥の活用 ・消化ガスの活用 ・太陽光 ・小水力発電 ・風力

・下水熱・地熱利用

② 災害拠点構想

災害時に広い敷地や災害用資材を利用した防災基地としての活用が可能です

・防災備蓄機能 (水、食料) ・防災基地機能 (活動拠点、非常用電源)

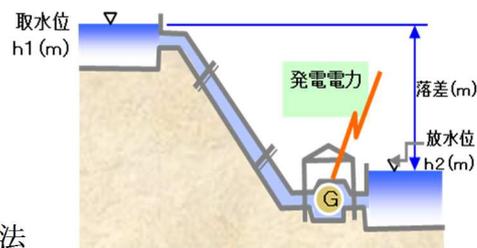
・避難所機能 (水源、仮設トイレ、非常用電源) ・非常物資集配機能 (ヘリポート)

これまでの取り組み

小水力発電について

小水力発電の意義

- ・設備利用率を高く設計することが多く、70%程度で経済的に有利です
- ・出力変動が少ないので、系統の安定や電力品質への悪影響を小さくできます。
- ・事前調査や土木工事が比較的簡単で、必要な機器設備や工法の規格化・量産化が進めば経済性が良くなると期待されています。



第 1 回 下水道エネルギー利用研究会 発足

日時：平成 25 年 3 月 14 日 (木) 午後 1 時 30 分～4 時 20 分

場所：諏訪市豊田クリーンレイク諏訪

講演 「下水道における小水力発電の技術と事例」

講師 大和昌一氏 (富士電機 (株) 発電/小水力事業本部担当部長)



第 1 回研究会 発足式

第 2 回 下水道エネルギー利用研究会

日時：平成 25 年 5 月 23 日 (木) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分

場所：諏訪市豊田クリーンレイク諏訪

講演 「水源を活かす小規模な水力発電の技術」

講師 : 菊池伯夫 (株) 茨城製作所 理学博士

処理場の新たな役割について意見交換を行いました。



富山県二上浄化センター視察

第 3 回 下水道エネルギー利用研究会

日時：平成 25 年 8 月 5 日 (木) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分

場所：諏訪市豊田クリーンレイク諏訪

講演 小水力発電の将来と下水道処理場における可能性

講師 飯尾昭一郎 (信州大学工学部環境機能工学科准教授)

第 4 回 下水道エネルギー利用研究会 先進地視察

日時：平成 25 年 9 月 20 日 (金) 午後 1 時 30 分～2 時 45 分

場所：富山県高岡市二上浄化センター

小水力発電の実施例視察 参加者数 16 名

富山県は、水が豊かなことから水力発電に積極的に取り組んでいます。

第 5 回 下水道エネルギー利用研究会

日時：平成 26 年 11 月 18 日 (火) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所：アクアピア安曇野

講演：① 消化ガス発電 下水道公社中信管理事務所長 八幡 義雄

② 消化ガス燃料電池発電 松本市下水道課長 近松 秀彦

3 月 12 日 松本市両島浄化センターの燃料電池発電現地調査を実施しました。参加者 23 名



松本市両島浄化センター視察

今後の進め方

他の処理場で焼却炉に使用している消化ガスの一部を発電することにより、夏場の使用電力のシフトや災害時の利用する検討。最近注目されている下水熱、地熱の利用の検討。

『すわまちくらぶ』オープン

五味 光一



昨年7月13日に『すわまちくらぶ』が「まちを歩き、まちに学び、まちを創る」をコンセプトにオープンしました。場所は上諏訪本町の三村貴金属店さん隣の登録有形文化財に指定された建物です。後山の分校からきた古い木の机と椅子が並ぶ、懐かしい雰囲気施設の施設です。

『すわまちくらぶ』は2011年から続けてきた「諏訪まちアートフォーラム」のまち歩きの中から、「まちづくり仲間のプラットフォームが有ったら良いね」という声から実現しました。諏訪には様々なまちづくりをしている団体や個人が多くいて頑張っていますが、それぞれが孤軍奮闘で無駄も多いし行き詰まりも感じていました。そこでまちづくりの仲間のための、ピラミッド型の組織ではないフラットな関係の場をつくり、その中で科学反応が起きることを目標とする施設です。・・・「まちを創る」



『すわまちくらぶ』はそもそもまち歩きから生まれましたし、開設した上諏訪本町は、酒五蔵・寺町・手長八剣・温泉・洋館等々まち歩きネタの宝庫です。そこで観光客や市民のためにまち歩きの拠点となる機能も備えました。バリアフリーのトイレや、無料の喫茶コーナーを設け気軽に休憩出来ます。さらに諏訪の書籍を集めたミニ図書館や、パンフレットや地図など、まちの情報を提供しています。これらの情報は行政の壁を越えた広い範囲の情報をそろえています。・・・「まちを歩く」



館内は季節や行事などに合せた展示もしています。近代遺産・鷹匠・お雛様・諏訪の桜・・・など。最初はなかなか展示替えが出来ませんでした。最近頻繁に入れ替えています。展示に合せ講演や講座も開かれ、時には博物館などと連携したイベントも開催しています。小和田の舟立・立川大隅流・御柱・諏訪の酒・諏訪神社などイベント・展示の今後もネタにも事欠きません。諏訪清陵中学校の授業にも利用されました。・・・「まちに学ぶ」

『すわまちくらぶ』をオープンして9ヶ月、未だ完成形とは言えない部分（ホームページ、団体の例会開催など）もありますが、いろいろな思いを持った人々がぞくぞくと集まってきました。普段なかなか言えない・聞いてもらえない事を、『すわまちくらぶ』は拾うことができる場所になっています。

それに併せて貴重な資料や書籍も集まってきます。あまりに貴重過ぎて困ることもあります。これは河原喜重子さんという優秀なスタッフに恵まれたことが大きいのですが、今後はこれらの整理や、展示・図書スペースの増設など考えなければなりません。何より河原さんをどのようにして今後も繋ぎ止められるかは大問題です。

『すわまちくらぶ』は諏訪市の助成で運営しています。今後どのように続けられるか分かりませんが、多くの皆様に活用いただき、無くてはならない場所にすることが、継続のための唯一の方法だと信じて活動していきます。



平成 27 年度総会 記念講演

「私の更生保護活動について」 副会長 小林 聖仁

長地小 5 年生のお孫さんが発行された「私のおじいちゃん新聞」～保護司について～をお持ちいただきました。その紙上には、平福寺の名誉住職のかたわら保護司の仕事をして 40 年間しており、現在は長野県保護司会連合会会長、全国保護司連盟常務理事としていそがしくしている様子が肖像写真とともに紹介されていました。

小林副会長は、「名誉住職と言ってもお寺におらず、お寺の仕事ができず肩身が狭い」と笑いを誘って話しはじめました。お話しのおり、先週一週間は連続して長野市通い。来週一週間は来年度予算の概算要求で、都内ホテルへ缶詰めになるそうです。

諏訪湖浄化活動とは、平成 2 年にロータリークラブの席で、故藤原正男さんのお話を聴いたのが出会いでした。諏訪湖の浄化は、まさに心の浄化であること。この総会においても、諏訪湖クラブの事業報告がたいへんな拡がりをもっているのもっと多くの方に活動内容を知ってほしいと注文もされました。

犯罪や非行をした人々が地域社会で円滑に立ち直れるように支えるのが、更生保護活動です。この活動をすすめる人々の中には、保護司、更生保護女性会員、更生保護協力雇用主、BBS 会員があります。副会長のお話しの中で、特に三つのことが印象的でした。

一つは、長野モデルとなった協力雇用主の創設です。当初は、「罪を犯した人をどうして雇うのか」

「社長は頭がおかしい」と言われたそうです。しかし、グループでは悪をしても、ひとりなれば純真な対象者だからどうやって心を開いていくか、寄り添って行けるかが大切になる。それには、認めてくれる人間が身近にいることが一番で、そこから人は育てて立ち直れると力説されました。優良事例として、北九州でガソリンスタンドを営む野口義弘社長が「一番ピカピカに車を磨くのはおまえ、凄いな！」と店長に何人も抜擢されたことをご紹介いただきました。

二つ目は、諏訪福田会（ふくでんかい）の活動です。明治期以来、諏訪ではお寺の住職が保護司や民生委員をされることが多く、製糸家と協力して支援の輪を広げ、それが諏訪福田会となり現在も活動を継続しています。また、長野県内には、僧籍保護司さんが 130 名いて、5 年前に仏教協力会もが結成されたそうです。

三つ目は、平福寺での百万遍念珠の復活です。江戸時代に流行ったもので、大きな数珠を繰り返しながら念仏を唱えます。念珠を 3 回まわしたら、お茶を飲む。栄養士でもあるお大黒様の煮物や漬物で語り合います。この輪に、誰が対象者であるかわからないようにして入ってもらいました。そうしたところ、万引きの常習犯となってしまった女性の心に変化を生じたそうです。こうした実践の中で「一宗教行事」と抵抗を受けながら、現在は処遇プログラムにも取り入れられるようになりました。お寺は心の動揺がない安心（あんじん）の場であり、お寺が地域のみなさんからどれだけ認めていただけるかを原点だと話されました。東京から取材された小倉美恵子さん（ささらプロダクション）は、小林副会長のお話に変に感銘されて、諏訪湖を真ん中において、「巨大な百万遍」を行っているのが諏訪の人だと感想を寄せられました。小林副会長は、「保護司は菩薩行の実践であり、人はみな生かされ、生きてゆく」と結ばれました。熱い想いを包み込む清明な語り口が、心にしみわたる講演でした。

（文責：高木保夫）



「諏訪女声ネットの会」です よろしく！

鴨志田 明子

誕生の経緯

2010 年 3 月 「諏訪市女性団体連絡協議会」の後継的な存在として誕生しました。女性の地位と福祉の向上を目的とした「女団連」は、行政への女性の参画、リサイクル事業などの活動を行ってききましたが、参加団体の減少、会員の高齢化等、目的はほぼ達成できたということで、発足以来 23 年間の幕を閉じました。

女性のパワーで諏訪を元気にしたい、住んで良かった、この街が好きと、誰もが思えるまちづくりをするためにも、女性の声を行政に届けたい、..そんな思いを同じくする団体、個人の参加により「女声ネットの会」は設立されました。

「女団連」は、いろいろの会としての活動を行ってききましたが、各団体は自分たちのことで精一杯 そんな状況を慮り、「女声ネットの会」は、ゆるやかな会を目指しました。

会の目的および事業

女性に関わる問題を中心に、市内女性団体および会員相互の連絡調整、研修を行ない、市の審議会及び各種委員会などへの女性の参加を推進し、その質の向上を図ることを目的としています。研修会、交流会等の開催、女性の社会参加、行政への決定権を持つ事業への参画が主なる事業です。

実施事業

- ◇ 裁判員制度についての学習会
- ◇ 3.11 東日本被災地ボランティアの方の話を聞く会
- ◇ いろいろな分野でご活躍の方々の講演会
 - ・ 元ユネスコ事務総長顧問 服部英二氏
 - ・ 中東・イスラム研究の第一人者で東大名誉教授 板垣雄三氏
 - ・ 東京理科大講師 藤瀬恭子氏
 - ・ サロンしもすわ代表 樽川道子氏
 - ・ 加藤副知事より 女性の立場からの県政の取り組みについて話を聞く会
 - ・ 諏訪市議会女性議員(現・元)より諏訪市の現状と課題について(3 回シリーズ)
 - ・ 市長との懇談会
 - 「空き家対策、駅前活性化、東バル跡地、すわまちくらぶ運営、福祉タクシー及び福祉六市町村統一、広報のあり方等」について
 - ・ 諏訪市議会の現状と市議会傍聴
 - ・ 「男女共同参画市民協議会」との共催
 - 「ともに生きる諏訪市民大会」「ともに生きる諏訪セミナー」への共催。27 年度「ともに生きる諏訪市民大会」は、6 月 27 日弁護士、菊池幸夫氏の講演会を行います

以上が、女声ネットの会の活動報告です。現在 10 団体、個人 10 名の会員で構成。27 年度会長は金子田美さんです。

互いの団体との交流を深めながら少子高齢化の進む社会の中で、裾の広がりある女性の声を、行政に届けて行きたいと思っております。



平成 27 年度総会終了のご報告

5 月 24 日（日）諏訪市文化センターにて平成 27 年度定時総会が行われました。提案した平成 26 年度の事業・会計報告が承認され、27 年度の事業計画・予算を審議、承認されました。ありがとうございました。

総会にご欠席の皆様には総会資料および会費納入のための払込表、そして平成 26 年度の諏訪湖保全に関わる事業で作成された「チャリティ・ウォーク 25 年のあゆみ」CD を同封いたしました。どうぞご確認ください。

理事会報告

- 第 75 回 日 時：平成 26 年 12 月 21 日（日）15:00～17:00
場 所：すわまちくらぶ
出席者：沖野 外輝夫、金子田美、長崎 政直、宮坂 平馬、長崎 功、宮原 裕一、谷 辰夫、八幡 義雄、市川 純章、五味 光一、林 正敏、宮坂 清、上島 義和、井上 祥一郎、田代 幸雄、金子 ゆかり、小池 玲子、宮坂 義道、河原 喜恵子、高木保夫
内 容：1. チャリティウォーク 25 年のあゆみ CD 作成 について
2. 神城断層について
3. 諏訪湖の漁業活性化シンポジウム について
4. 高校生によるまちづくり について
5. 自然エネルギー関係
6. 新会員の紹介（宮坂義道氏）
※ 会議後、同会場にて忘年会
- 第 76 回 日 時：平成 27 年 1 月 18 日（日）10:00～12:00
場 所：スマートレイク事務所
出席者：沖野、金子、五味、宮原、八幡、市川、高木
内 容：1. SUWAKO Labo 太陽光発電所事業報告会について
2. 身近な水環境の全国一斉調査について
3. 諏訪湖の御神渡しについて
4. マシジミ調査について
5. スワパールについて
4. その他
- 第 77 回 日 時：平成 27 年 2 月 15 日（日）10:00～12:00
場 所：スマートレイク事務所
出席者：沖野、金子、五味、宮原、八幡、宮坂（平）、長崎（功）、上原、鴨志田、柳澤、高木
内 容：1. 平成 27 年度総会について
2. 水循環基本法について
3. 霧ヶ峰のメガソーラー計画について
4. 淡貝について
5. チャリティウォークのまとめについて
6. その他
- 第 78 回 日 時：平成 27 年 3 月 1 日（日）13:30～15:35
場 所：信州大学山地水環境教育研究センター講義室
出席者：沖野、小林（聖）、金子（田）、金子（ゆ）、井上、五味、宮原、八幡、宮坂（平）、長崎（功）、田代、高木、柳澤、高木
内 容：1. 平成 27 年度総会について
2. 諏訪湖クラブ活動内容の整理
- 第 79 回 日 時：平成 27 年 5 月 17 日（日）10:00～12:00
場 所：スマートレイク事務所
出席者：沖野、長崎（政）、宮坂（平）、金子（田）、五味、宮原、八幡、長崎（功）
内 容：1. 平成 27 年度総会開催に向けての議案確認と当日の役割分担について
2. チャリティ・ウォークまとめの CD 配布予定の確認
3. その他



企画・編集・発行 諏訪湖クラブ
TEL/FAX 0266-58-0490
E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

諏訪湖クラブニュース

No. 22